

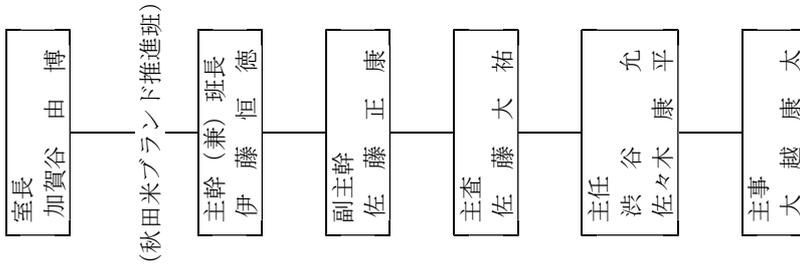
水田総合利用課
秋田米ブランド推進室

水田総合利用課秋田米ブランド推進室

(令和3年4月1日現在)

室の所掌事務

- (秋田米ブランド推進班)
- ・水稲新品種のデビュー対策
 - ・秋田米新品種ブランド化戦略本部の運営



事業名	秋田米をリードする新品種デビュー対策事業【農林漁業振興臨時対策基金】	担当	秋田米ブランド推進班	
事業年度	平成30～令和3	事業主体	県	
事業目的	「サキホコレ」の本格デビューに向け、高品質な米を安定供給するための生産対策やブランドイメージ構築のための流通・販売対策、戦略的な情報発信等を総合的に実施する。	財源	当初予算額	150,740 千円
		国庫		73,837 千円
		繰入金		76,896 千円
		諸収入		7 千円
実施内容	1 確かな品質で安定供給できる生産体制確立事業	21,094千円 (◎10,155千円、①10,932千円、②7千円)		
	品質・食味の一層の向上と地域別栽培マニュアルの策定に向け、引き続き栽培試験を実施するとともに、栽培技術の普及や区分集荷体制の構築を進める。			
	(1) 品種栽培特性調査 現地栽培試験 (3か所)			
	(2) 商品訴求力の向上につながるデータ収集 炊飯特性分析 (委託先: (株)アイホー炊飯総合研究所)			
(3) 品種特性を發揮できる栽培方法等の調査 施肥反応試験 (農試1か所)、特別栽培米の栽培試験 (農試1か所) 食味関連調査 (委託先: (一財)日本穀物検定協会、43点)				
(4) 生産・集荷体制の構築				
①栽培技術の普及				
ア) 技術情報の提供 (技術普及展示ほの設置 (20か所)、SNS等の活用)				
イ) 研修会の開催 (指導者研修 (5回)、生産者研修 (各地域で年5回))				
ウ) 生産技術の研鑽 (県域の生産者協議会の設立)				
②区分集荷体制の構築				
ア) 事業内容: JA等集荷団体における食味分析計の導入支援 (2台)				
イ) 補助率: 国1/6以内、県1/6以内				
2	トップブランド米の地位確立に向けた流通・販売対策事業	5,563千円 (◎2,927千円、①2,636千円)		
総合プロデューサーの監修の下でプロモーション等の統一的な展開を図り、訴求力のあるブランドイメージを構築する。				
(1) ブランド化総合プロデュース ロゴマークの活用や、広告・イベントの企画等に係る指導・助言				
(2) 流通・販売促進活動 卸・小売調査、商標登録、海外商標登録 等				
3	知名度や関心を高めるための戦略的な情報発信事業	118,322千円 (◎58,106千円、①60,216千円)		
デビュー前から戦略的に情報を発信し、県内外において関心や期待感を高める。				
(1) プロモーション活動 ロゴマークデザイン発表、先行販売イベント、メディアを活用した話題創出、サンプル米の配布 等				
(2) 情報発信活動 学校給食への提供、農業系高校における栽培実習、ホームページによるPR 等				
4	ブランド化戦略推進体制整備事業	5,761千円 (◎2,649千円、①3,112千円)		
「秋田米新品種ブランド化戦略本部」の円滑な運営を図るとともに、「秋田米新品種ブランド化戦略」に基づく各種取組を推進する。(本部会議及び専門部会の開催等)				